

新野菜「リーキ」の栽培法と地域適応作型

(園試 南部分場)

1 背景とねらい

リーキは別名西洋ネギとも呼ばれ、欧米では軟白した葉鞘部をスープやシチューに使用するほか、サラダとしても利用されており、日本ネギに比べ、軟らかく、刺激性も少なく、甘みが強いなどの特徴を有している。近年、食生活の多様化に対応し、各地で試作が行われているが、国内での生産は少なく、大半が輸入物で占められている。

そこで、今後、需要の伸びが期待されるリーキについて検討した結果、新たな地域特産作物として有望と考えられるので参考に供する。

2 技術の内容

(1)栽培法

①は種期(定植期)は、秋冬どりで2月下旬～4月上旬(5月下旬～6月上旬)とし、春どりでは6月下旬～7月上旬(9月上旬)とする。②育苗は、大苗ほど収量・品質(S級以上規格)が勝ることから地床育苗とし、省力化を図る場合は被覆肥料の添加を条件にセル成型育苗とする。③定植時の苗齢は本葉4枚前後とし、10a当たり株数は、露地栽培で7,000～8,000株、ハウス密植栽培では倍量とする。④施肥量は、10a当たり窒素・リン酸・加里とも30kg程度とする。⑤ハウス密植栽培では、軟白資材として、黒フィルムや黒の不織布等の利用が有効である。⑥収穫時期は、葉鞘茎2cm以上を目安とし、根は盤茎から切除し、茎長を45cm程度に調整・洗浄し、出荷する。

(2)作型と適品種

作型	栽培	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	期待収量
秋冬どり	露地																	1500kg/10a
	ハウス	○	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2500kg/10a
春どり	ハウス																	2500kg/10a

(土寄せ・軟白資材利用) (取り置き株)
 (軟白資材利用)
 (10~11月):オテイナ、テイリナ (11~12月):ワソダー
 (軟白資材利用)
 (12~4月):スノ-

(3)適応地域 中南部沿岸および県南地帯

3 指導上の留意事項

(1)リーキは低温性野菜であり、ハウス栽培では、夏場や高温時に葉先枯れが発生することがあるので遮光に努める。(2)土寄せ時に葉鞘内に土が入ると商品価値が低下するので注意する。(3)露地栽培で年内の生育が不良な場合、翌春の4～5月まで収穫を延ばし、株の充実を図る。(4)盛夏期の異常低温(平成5年)で、希に年内に抽だい株が発生することがある。

4 試験成績

表1 は種期と収穫調整茎の生育・収量（平成5年）

品 種	播種 時期	S 級 以 上								a 当 たり 収量kg	規格割合(%)			
		草丈 cm	葉数 枚	葉幅 cm	葉色	葉鞘 長cm	軟白 長cm	葉鞘 径mm	調整 重 g		L	M	S	屑
晩生リーク	2月	121.7	12.4	4.8	67.2	31.2	24.2	27	220.1	294	10	40	30	20
	3月	105.5	9.5	5.1	72.5	20.5	15.0	23	147.5	148	0	30	30	40
	4月	115.3	11.2	5.7	71.3	23.8	18.3	27	202.3	236	20	0	50	30

表2 地床育苗とセル成型育苗の収量・品質（平成7年 露地栽培）

栽培法	苗質	a 当たり収量(kg/10a)				S 以上調整重(g/1本)			
		テリテ	行付	ワッダー	スー	テリテ	行付	ワッダー	スー
軟白資材	地床	186.9	189.0	135.8	155.0	291.7	259.2	208.6	259.0
利用栽培	セ5	113.9	218.6	174.1	177.9	136.7	182.7	159.2	201.0
	セ10	161.6	213.5	176.6	153.2	206.7	195.3	169.5	163.3
	セ15	193.2	314.4	147.3	173.0	218.3	212.5	166.4	206.7

注) セ 5~15:200セル、培養土1リットル当たり被覆肥料:5~15g添加

表3 リーキの a 当たり収量（平成5年~7年）

栽培区分	a 当たり株	平均収量	標準誤差	最大収量	備考
露地栽培	833.3 株	159.4 kg	± 6.1kg	217.4 kg	H6-7(32)
ハウス栽培	1666.6	253.4	± 24.2	386.5	H5-7(23)

注1) 栽植密度 露地栽培:80×15cm ハウス栽培:40×15cm

表4 リーキの最適調整長（各品種込み）と商品性（見映え）（平成6年）

調整長	頻度	%	調整重(g)	商品性（見映え）
30cm	18	16.4	161.2	やや劣る（葉が短すぎ調整重が軽くなる）
40cm	56	50.9	192.4	良好（葉鞘長と葉のバランスが良い）
50cm	34	30.9	226.0	良好（葉鞘長と葉のバランスが良い）
60cm	2	1.8	251.5	劣る（葉が長すぎる）

表5 地域適応品種の特性（平成5~6年）

品種名	収穫期	葉の生育			葉鞘部				全体的 品質 揃い
		草姿	長さ	葉幅	長さ	太さ	色	盤茎 膨らみ	
行付	初秋~初冬	やや開帳性	中	やや広	中	太い	白	-	良
テリテ	初秋~初冬	立性	中	やや広	中	太い	白	-	良
ワッダー	秋~冬	開帳性	長い	広い	中	太い	白	やや多	良
スー	冬~春	立性	長い	広い	長い	やや細	純白	少	良